

環境新聞・ユーレット合同企画

CO2と経営

3

環境と財務の「見える化」へ

シャープの液晶テレビ
専門工場である亀山工場
（三重県亀山市）は、液
晶パネルから液晶テレビ
の組み立てまで一貫生産
する世界初の垂直統合型
工場として開設された。
生産される「亀山モデ
ル」の商品は、工場その
ものの環境配慮ともあい
まって、産地ブランドが
定着した。さらに、「21
世紀型コンビナート」と
して、堺市に液晶パネル
と太陽光発電の世界最大
規模の工場を建設する方
針だ。

同社の財務状況と事業
所のCO₂排出量の推移
（図1）を見ると、20

一方CO₂排出量は、

電機業界編③

シャープ

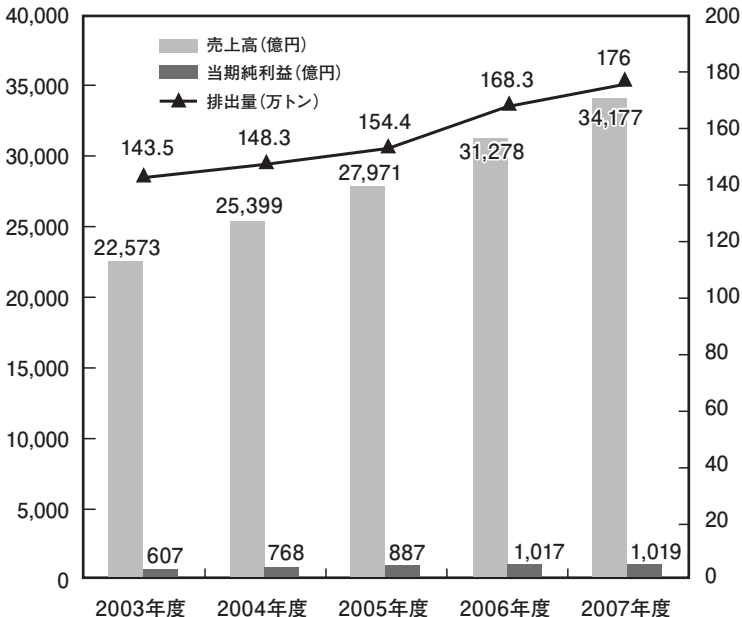


図1 シャープの財務状況と事業所のCO₂排出量の推移
（シャープ発行の環境・社会報告書、
ユーレット<<http://www.ullet.com/6753.html>>を基に作成）

「創エネ」と省エネを駆使

増加率は約22%に留まっ
ており、CO₂排出量の
増加率は売上高のそれと
比べると小さく抑えられ
ているようだ。

増加率は約22%に留まっ
ており、CO₂排出量の
増加率は売上高のそれと
比べると小さく抑えられ
ているようだ。

排出量176万トンに対
し、削減量は137万ト
ンと、排出量を下回った
が、10年には排出量と削
減量の数値を同等にし、
さらに15年には削減量が

の環境配慮や安全化、資
源循環を促進する商品リ
サイクルの展開、環境経
営度を高めるマネジメン
ト推進など、すべての活
動において大幅な環境負

トリー以上にするという
中期計画を達成した。亀
山工場は、品質や技術面
だけでなく、敷地内の屋
上や壁面への世界最大級
パネル・西野嘉之

排出量を上回ることを目
標としている。

「世界中に12億台ある
と言われるブラウン管テ
レビをすべて液晶テレビ
に変えると1千億ワット
の電力を削減でき、火
力発電所が13基ほど不要
になる」と谷口実環境安
全本部副本部長は語る。

また、従業員の環境マ
インド醸成も重視し、
「東京商工会議所などが
実施する「環境社会検定
試験」（エコ検定）に合
格した従業員は1500
人を超える」という。

さらに、独自の評価基
準をもとに温室効果ガス
や水使用量、安全管理
などの環境性能評価項目
を設け、100点満点中
70点以上を「グリーンフ
アクトリー」、90点以上
を「スーパースタールフ
アクトリー」とし、先述
の亀山工場などを認定し

商品の省エネ性能の向
上以外でも「スーパース
タール戦略」として、工場
全工場をグリーンファク

また、従業員の環境マ
インド醸成も重視し、
「東京商工会議所などが
実施する「環境社会検定
試験」（エコ検定）に合
格した従業員は1500
人を超える」という。

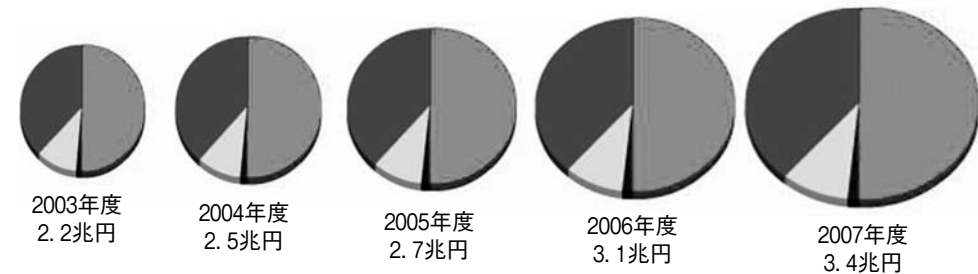


図2 シャープの損益計算書(P/L)の円グラフ。
2007年度まで売り上げが右肩上がりに伸びている。
（ユーレット<<http://www.ullet.com/6753.html>>を基に作成）